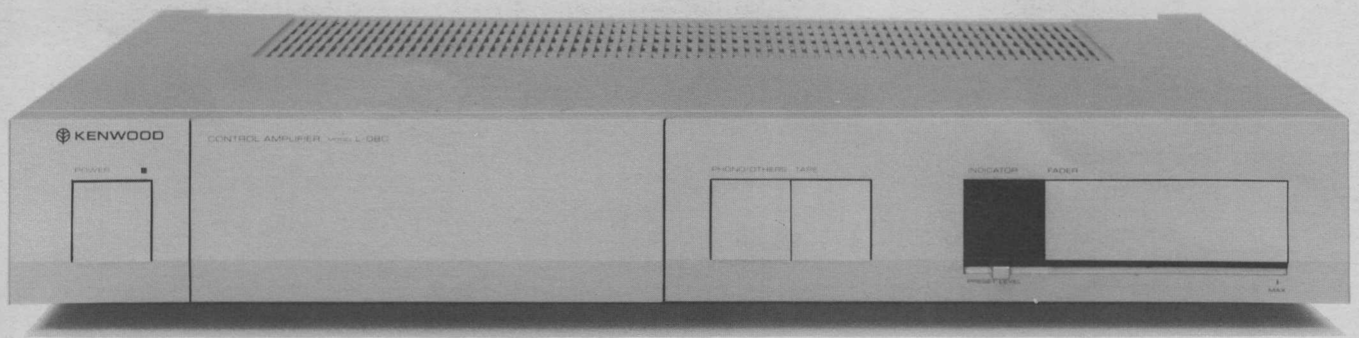
KENWOOD 1980 NEW PRODUCT PROFILE

新製品プロフィール



Σ DRIVE

Σドライブ・ステレオコントロールアンプ

L-08C ¥180,000

Σドライブ方式のコントロールアンプL-08Cが完成。コントロールアンプは、スピーカーのような変動する負荷こそもっていませんが、線材や入出力端の接触抵抗など、アンプの筐体外に音質劣化の要因をかなりかかえています。L-08CはΣ結線を採用。パワーアンプの入力端子からオーバーオールにNFBをかけることで、接続コードや、さらにその先のパワーアンプの入力端子まで、L-08CのNFループに取り込み、すぐれた性能を発揮します。

ポケット部



定電圧電源を追放したマルチ電源+電源電流吸収回路

別巻線トランスと整流平滑回路により構成される専用電源を各ステージに設置。しかもフラットアンプは左右独立電源として、じつに6電源方式のマルチ電源を完成。またフラットアンプ、イコライザーアンプには、新開発の電源電流吸収回路を採用。入力信号の変動にもかかわらず、±B回路やアース回路に交流が流れないように設計しています。これにより、電源やアースはインピーダンスがゼロとみなせ、これまで音質的に問題のあった定電圧電源やブスラインアースの追放に成功。もちろんマルチ電源により各ステージ間の干渉がなくなり、純粋な信号電流だけを伝送しています。

マグネチックディストーションを追放する非磁性体構造

薄型アンプでは、底板やケースと回路が接近しているため、鉄板を使用するとマグネチックディストーションの影響をダイレクトに受けてしまいます。L-08Cでは、底板・ケースともに非金属を採用し、また信号が貫通する背面パネルも非磁性アルミを使用。マグネチックディストーションを追放しています。

操作性を改善したポケット部

ひんぱんに使用しないツマミ類をパネル内部に収納するスタイルは、いまや一般化してきました。しかしポケット内部は狭く、操作しにくいのが難点となっていました。L-08Cのポケットは開けるとツマミ類がせりだしてくる新機構を採用。パネル面のツマミ同様にすぐれた操作性を実現。ポケットのパネルは、開けるとメインパネルの下に収まり、長時間使用しても、邪魔になりません。

●4パラ差動MCヘッドアンプ●3段差動MMイコライザーアンプ●デュアルFET使用のフラットアンプ●ヘッドホーンアンプ●フェーダー●周波数連続可変ラウドネスコントロール●**ニュー・ハイスピードアンプ**